

JFA バーモントカップ第35回全日本U-12フットサル選手権富山県大会
兼
セルジオ杯第50回富山県学童フットサル大会
開催要項

1. 主 催

(公社) 富山県サッカー協会、富山サッカー友の会

2. 特別協賛

ハウス食品グループ本社株式会社

3. 期 日

2025年 2月 22日(土)・23日(日)、24日(月)、・・・3日間開催

4. 会 場

魚津テクノスポーツドーム(ありそドーム)

5. 参加資格

- (1) 2024年度(公財)日本サッカー協会に登録した加盟チーム又はフットサル登録のみのチーム ※選抜、合同チーム参加は認めません
- (2) 2024年度(公財)日本サッカー協会の「サッカー4種」又は「フットサル4種」の種別で加盟登録をした単独チームに登録された選手とし、5年生以下で編成されたチームであること
- (3) 引率者は当該チームを指導把握し、責任を負うことのできる者であること
- (4) 選手は保護者の同意のある者に限る
- (5) 参加チームは傷害保険等に必ず加入済みであること
- (6) 2024年度フットサル審判員の資格を持った審判員を帯同する
- (7) 本大会に参加するチームの帯同審判は、2月16日(日)に行うフットサル審判の講習会を必ず受講すること(今年度から参加チームは必須とする)
場所：北陸建工グループアスリートフィールドアリーナ 時間：9:00～11:30

6. 参加費

1チーム 7,000円

参加費は **2025年 2月 14日(金)** まで下記口座に振込むこと

口座名 (公社) 富山県サッカー協会

銀行名 北陸銀行 電気ビル支店

口座番号 普通 5035050

※振込みは必ず『U-11F チーム名』で振りこむこと

7. 競技形式

- (1) 1日目 予選リーグ戦、 2日目 予選リーグ戦、 3日目決勝トーナメントとする。
- (2) 1日目、2日目の予選リーグ戦における順位決定方法は勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。(各リーグの1位のみ決勝トーナメントに進む)
勝点は(勝ち3、引分け1、負け0)とする
但し勝点合計が同じ場合は以下の順序により決定する
(1)得失点差 (2)総得点 (3)当該チームの成績 (4)抽選

8. 競技規定

2024年度（公財）日本サッカー協会フットサル競技規則による。但し、以下の項目については、本大会の規定を定める

- (1) ピッチサイズ：32m×16m センターサークル半径2m、ペナルティーエリア1/4円ラインの半径5m、ペナルティーマーク5m
- (2) 使用球：フットサル用ボール（3号球）
- (3) 競技者の数
 1. ベンチに入ることができる人数：選手15名以内、指導者3名以内とする
- (4) 競技者の用具
 1. シューズ：市販されているフットサル用シューズ（アップシューズ等は禁止）
※ 体育館内で使用可能なシューズをお願いします（色移りしないもの）
 2. すね当て：着用のこと
- (5) 試合時間
 1. 予選リーグ戦：16分間（前後半8分間）のランニングタイム
ハーフタイムのインターバルは2分間とする
 2. 決勝トーナメント：20分間（前後半10分間）のランニングタイム
ハーフタイムのインターバルは2分間とする
 3. 決勝トーナメント決勝戦：2チーム選出
20分間（前後半10分間）のプレーイングタイム
ハーフタイムのインターバルは5分間とする
 4. ランニングタイムの試合は本部のブザーにて試合開始を行います
試合終了は本部のブザーが鳴りますが主審のホイッスルで試合終了とする
※主審はアディショナルタイムを考慮し試合を管理する事
- (6) トーナメント戦の勝敗を決定する方法（競技時間内で勝敗が決しない場合）
 1. 準決勝戦までの場合：3人によるPK方式により勝敗を決定する
 2. 決勝戦：4分間（前後半2分間）の延長戦を行い、決しない場合は3人によるPK方式により勝敗を決定する
 3. 延長戦に入る前のインターバル：5分間
 4. PK方式に入る前のインターバル：1分間
- (7) その他
 1. 3位決定戦は実施しない
 2. 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない
 3. 本大会において退場・退席を命じられた競技者及び引率者は、自動的に本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する

9. ユニフォーム

(ア) 競技者の用具・ユニフォームについては、（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規程に従うものとする。但し、ユニフォームについては下記の通りとする

- ① 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない
- ② 正・副の2色については明確に異なる色とする
- ③ ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても主たる色が同じであれば着用することが出来る
- ④ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した

